

## 第40回インナーゼミナール大会

# 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	小山ゼミⅡ
<b>チーム名</b>	小山動物園
<b>タイトル</b>	あなたがそれを選ぶわけ
<b>テーマ群</b>	g)その他
<b>メンバー</b>	◎中西里江 江副太其 岡崎翔平 向井悠人 政平実希 宮先彩佳
<b>研究計画内容</b>	<p>「あなたがそれを選ぶわけ」</p> <p>人は行動を起こす際に、常に選択に迫られている。</p> <p>経済学的に考えれば、人間は合理的な行動をするものとされているが、実際は常に合理的な行動をしているわけではない。</p> <p>それがなぜなのか、どうしてそうなるのかということの研究していこうと思う。</p> <p>行動選択する際、さまざまな要因が複雑にからみあって決定が為されている。</p> <p>大きく分けると2つに分けることができ、内部的要因（知識、考え方、心や体の状態、性格、テンション、気持ち）と、外部的要因（家族、友人、周囲の環境、テレビ、天気、自然環境）から人々は意思決定している。こういったことが、行動経済学として論証されている。ここで、行動経済学というものがどういったものを定義してみる。</p> <p>行動経済学とは、「現実の人間行動を重視し、人間の行動動機として経済合理性のみならず、人間の心理的な要因、すなわち人間の性向や感情なども考慮して、現実の経済行動を説明しようとする学問」である。</p> <p>これを具体的にそしてよりわかりやすく説明するために、学内外問わず多くの学生に「授業にきちんと出ているかどうか」というテーマでアンケートをとる。その結果から授業に出ていない人を出るようになるにはどうすれば良いのか、または授業にでている人はなぜでているのか、などを分析して結論へと導いこうと思う。またこの結果には、年齢・学部・性別によりさまざまな違いが出てくる。結果により授業改善といったことだけでなく、年齢・学部・性別によりどのように行動が変わってくるのかなどより深く追求して研究を進めている。</p>